

かねがさき 社福だより

2024年
第265号

主な内容

- 令和6年3月21日発行
P1 ボランティアスクール
P2~4 トピックス1~5
P5 厚生労働大臣表彰・
全国社会福祉協議会会長表彰
会長の想い
P6 寄付の報告
日常生活自立支援事業のご案内
ファミサポ会員募集



ボランティアスクール

手話教室



金ヶ崎小学校



永岡小学校

自分の名前や合唱曲を手話で表現する新鮮な体験に、金ヶ崎小学校と永岡小学校の児童の皆さんも夢中で取り組んでいました。

視聴覚障がい者との交流会

西小学校では、実際に日常生活で使用している器具に触れたり、一緒に白杖の体験をしたりするなど、積極的に取り組んで理解を深めていました。



第一小学校

高齢者施設交流会

西小学校は介護予防施設西光荘様、第一小学校は特別養護老人施設あすなろ様を訪問し、交流会を実施しました。児童のみなさんの元気な歌や合奏に、涙ぐんで喜ぶ利用者の方もいらっしゃいました。



西小学校

キップハンドイ体験

車イス、白杖、高齢者疑似の3つの体験を実施しました。体験をとおして相手の気持ちに寄り添う大切さを学びました。



三ヶ尻小学校

介助犬体験

手や足に障がいのある方の手助けをする介助犬は全国でも約60頭で、岩手県で暮らしている唯一の2頭が、第一小学校と西小学校に来てくれました。落としたペンを拾うなどの実際の作業光景に、児童の皆さんも目を輝かせていました。

トピックス

話題の事業

新年会&20歳のお祝い

ワークステーションかねがさき 「新年会&20歳のお祝い」「お楽しみ会」

トピックス

1月 21 日（土）、午前中はレクリエーションを楽しみ、昼食は職員お手製のきりたんぽ鍋を皆さんで美味しくいただきました。午後は福笑いやお菓子つかみ取りなどの新春ゲームを楽しみました。

今年度、お一方の20歳をお祝いいたしました。管理者より祝い品を贈呈しました。「今後もお仕事を頑張っていきます」と決意を述べられました。



第44回・第45回 はっぴいふれいすかねがさき

トピックス

第44回（1月27日開催・福祉センター）
ライフクリエイト様、まるとみ様のご協力をいただき、お餅と唐揚げ、さらにフライドポテト、ドリンクバー＆スープバーを会食形式で総勢66名の参加者でいただきました。

また、トヨタ自動車東日本様、東北電力ネットワーク様、NPO法人希望の星様から寄附いただいた食品等でフードパンtriesも開催し、大変喜んでいただきました。



第45回（2月17日開催・福祉センター）
会食形式でカレーを総勢77名の参加者でいただきました。おいしいとの声がたくさん聞かれ、にぎやかなランチ会となりました。

当日は花巻市のクラフト作家IRIE（アイリ一）の高橋さんご指導のもと、タッセル作りを楽しみ、夢中で創作活動を楽しむ子どもたちの姿が見られました。また、サプライズのギター弾き語りもあり、会場は大盛り上がりでした。

3スノーバスターズ

トピックス



金ヶ崎町スノーバスターズでは、毎年住民の方々や町内に拠点を置く企業の方々にご協力いただきながら、町内の除雪困難世帯の雪かきを行っています。

今年の冬は積雪が少なかったため、対象世帯の方々の見守り活動を重点的に実施しました。計7回の実施で、ボランティアの方々に参加いただきながら、町内約143世帯を訪問いたしました。たくさんのご協力ありがとうございました。

▲除雪活動：東北電力(株)水沢電力センター様

4 奥州金ヶ崎広域社協連絡協議会役職員研修会

トピックス

2月22日（木）プラザイン水沢を会場に、奥州金ヶ崎広域社協連絡協議会の役職員研修会を実施しました。

同研修会では、岩手県立大学社会福祉学部社会福祉学科の学科長である宮城好朗教授を迎えて、「社協と社会福祉法人・福祉施設の連携・協働の推進に向けて」と題してご講演いただきました。多様化・複雑化する福祉ニーズに対応するために求められる連携・協働について理解を深めました。



5 金ヶ崎町福祉施設等情報交換会

トピックス

2月9日（金）、町福祉センターを会場に、第18回金ヶ崎町福祉施設等情報交換会を開催しました。コロナ禍の影響で5年ぶりの開催となった同会では、町内で介護や保育施設などを運営する13団体、25人に出席いただき、日々の取り組みや運営状況などの情報を交換しました。共通課題の解決を目指し、福祉サービスの向上に向けて今後も法人間の連携強化を進めてまいります。



厚生労働大臣表彰・全国社会福祉協議会会长表彰



◆厚生労働大臣表彰

*ボランティア功労

多年にわたり、福祉分野などでボランティア活動を率先して行い、またはボランティア活動への支援を行うなど、その功績が顕著な方



佐 藤 恭仁子 様

*社会福祉事業従事功労

多年にわたり、社会福祉事業の従事者として、その業務に精励し、その功績が顕著な方



板 宮 勢智子 様

金ヶ崎町社会福祉協議会看護師

◆全国社会福祉協議会会长表彰

*社会福祉法人・福祉施設功労

社会福祉法人の役職員または社会福祉法人以外の法人等が経営する社会福祉施設の職員の現職で、在任期間が役員15年以上、職員20年以上の功績顕著な方



伊 藤 勉 様

特別養護老人ホーム友愛園園長

*社会福祉協議会・民間社会福祉団体功労

社会福祉協議会・民間社会福祉団体等の役職員の現職で、在任期間が役員15年以上、職員20年以上の功績顕著な方



郡 司 彰 様

金ヶ崎町社会福祉協議会総務企画・
地域福祉課長・福祉センター建設推進室長



会長の
想い
Part 15



平和と福祉

金ヶ崎町社会福祉協議会 会長 高橋範夫

令和5年度も残り1ヶ月と旬日となりました。町民の皆様には本年度も当社協に格別のご支援とご協力を頂き誠にありがとうございました。今年の元旦は能登半島地震で始まり、大変な1年になるのではないかと心配されましたが、天候の方は暖冬で非常に過ごしやすい、これまででした。

さて今回は、平和と福祉について考えてみたいと思います。既に皆さんご承知のとおり、昨年6月に「経済平和研究所」(本部シドニー)が発表した「世界平和度指数」によると、トップがアイスランドで16年連続という。2位はデンマークで、日本は前年同様9位となっています。ちなみにウクライナは最下位から7番目の157位、ロシア158位となっています。

この平和度指数は、163か国を治安、政情、軍事支出など23項目を基に算出した指数を評価したものです。指数はともかく平和という言葉を改めて調べてみると、某国語辞典では「おだやかにおさまること。」とあります。また、インターネットで調べてみると「敵意や暴力がなく、社会的な友好と調和が保たれている状態を指す概念である。」と説明しています。いずれの説明も納得できますが、いざ戦争がはじまりますと生存権や人権、教育や福祉も何もかも踏みにじられてしまいます。

私たちは、いま戦争のない世界で9位の平和な国に生活しております。そして福祉は平和な社会があつてはじめて機能するものと考えられます。福祉の使命である人権の尊重、社会福祉サービスの提供、福祉の地域づくりにこれまで以上に精魂を傾けてまいりたいと思います。

